

責争

戸取

乗所

屋取

太田川ダムを独自調査

森町長と議会に資料提出

3市民団体

太田川ダム研究会など三つの市民団体は19日、同ダム湖や下流域で生じている水質変化とダムの耐久性に関する独自の調査結果を、森町の村松藤雄町長と全町議員宛てに提出した。

同研究会の岡本尚代表(85)＝森町円田＝とグループ太田川水未来の鈴木恵三代表(62)＝同町橋＝が町役場を訪問し、鈴木寿一副町長に資料を説明した。岡本さんは台風後の

太田川とダムのない三倉川の写真を示し、濁り具合を比較した。「下流域の住民から『川の水が汚れている』との声が上がっている」と指摘し、鈴木さんも「(ダム建設前の)県の説明と異なる状況になっている」と訴えた。岡本さんらはダムの堤に多数のひび割れがある点も懸念し、「大地震に対して安全が担保されていない」と主張。利水面からもダム湖に水をためておく必要性



太田川ダムに関する独自の調査結果を説明する岡本さん(左)と鈴木さん＝森町役場

がないとして、水位を最大限下げることが提案した。同研究会などはダムの建設前から独自の調査を行い、建設中止や水利用計画の見直しなどを求めている。